

行田市足袋蔵カフェ「花水の光」

プロジェクトレーションマッピングを用いた花手水 week の休憩所

大竹研究室
01812191 友松 香帆

1. 目的

本研究ではプロジェクトレーションマッピングを用いた花手水 week の休憩所を提案する。花手水 week 散策スポット内に点在する行田窯・孝子蔵・小川源右衛門蔵の3ヶ所に休憩所を提案し、本稿では行田窯の具体的な計画を行う。

2. 行田市における花手水の活用

2020年初頭から国内外で流行しはじめたCOVID-19の影響により飛沫感染、接触感染の可能性がある場の使用が制限された。神社や寺院では、COVID-19禍で参拝する前の手や口を手水舎の利用も制限され、手水舎を花々で飾る花手水が流行している。

行田市において花手水は行田八幡神社から始まり、行田市内の商店や民家の軒先にも飾られるようになった。2020年には花手水 week に発展し、毎月開催されている。花手水は行田の新たな観光となりつつあるが、散策スポットの範囲は広く、途中の休憩する場が少ない為、見学が大変である。また、散策範囲は、行田足袋蔵めぐりの範囲と類似している。

3. 行田足袋蔵の概要

行田足袋蔵は足袋産業に関わる蔵造りの建物で古くは主に足袋の保管庫であった。今日ではその多くは使用されず、年に数回開催されている蔵めぐりにて見学できるだけである。

行田窯：昭和初期に建設された現存する数少ない木造の足袋蔵である。二階建てで元は「穂国足袋」の商標で知られた荒井八郎商店の足袋原料倉庫である。同商店の手を離れた後現在の場所に曳家され東半部が取り壊され約1/3の大きさとなった。

孝子蔵：間口4間・奥行25間の大谷石の石蔵である。「孝子足袋」の商標で知られた大木末吉商店が昭和26年(1951)に城下町特有の細長い敷地の一番奥に建てられた。小型だが均等の取れた足袋蔵であ

る。主柱を持たずに大谷石を積み上げて壁を造り、その上に屋根を乗せていることが特徴で、窓の引き戸も大谷石である。

小川源右衛門蔵：間口4間・奥行9間の二階建ての大谷石の石蔵である。近江商人の小川源右衛門商店(現在のカネマル酒店)の商品倉庫として、昭和2年(1927)に大塚石材の手で建てられた。行田では数少ない戦前の石蔵で、現在も商品倉庫として使用されており、行田を代表する石蔵といえる存在である。

4. インスタグラムに投稿される花手水

SNSでの拡散は話題性・広告効果が高く、観光客の誘致に繋がる。特にInstagramは写真を通じたビジュアル表現によるコミュニケーションを目的とするSNSで若年層、特に女性の利用率が高いことが特徴である。

2021年12月28日現在、Instagramで光は170万件、ライトアップは150万件、花手水は36.7万件、27.7万件投稿されている。また、行田市を検索すると花手水の写真が多く投稿されている。

花手水を投稿数の多いライトアップ、特に近年話題となっているプロジェクトレーションマッピングで表現することで話題性がさらに高まるのではないかと考える。

5. 計画概要

本稿では行田窯(延床面積132.2㎡)における休憩所の計画を行う。一階はカフェ等の飲食ブースとしてテーブルや椅子を設置する。二階は蔵の暗さを利用してプロジェクトレーションマッピングを用いた休憩所を計画する。夏には涼しげな冬には暖かみのある花手水をテーマとした映像を投影し、見学者の疲れを癒す。また暗く落ち着いた雰囲気のある休憩所である為、周囲の視線を気にせずに寝転んだり好きな体勢でリラックスできる。室内だけではなく蔵の室外にも年に数回プロジェクトレーションマッピングの投影を行う。

6. おわりに

本計画では行田窯を例に足袋蔵の再利用について提案を行った。現在足袋蔵の多くは使用されず、遊休化が進む一方である。使用されていない足袋蔵を話題性の高いもの、本計画では花手水を活用し再利用することで、蔵の遊休化を防ぎ、行田市の活性化に繋がっていくことを期待する。

【謝辞】本計画を行うにあたり、ご協力頂いた横山晋一教授へ深く感謝申し上げます。

【参考文献】吉田優宏：行田市歴史的建造物 行田窯の調査・図面制作，ものづくり大学 建設学科 卒業研究（設計・制作・論文）梗概集，pp.125-126，2020

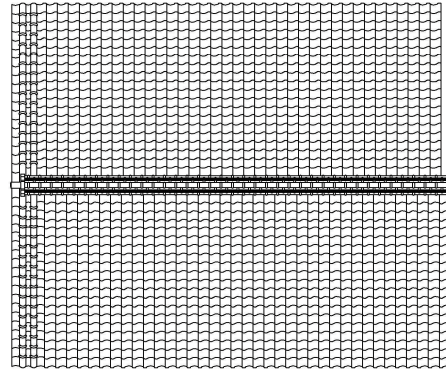


図1. 配置図・屋根伏図

一面にプロジェクションマッピングを投影する。

自由な体勢でくつろいでもらえるよう、大きめのクッションを設置。

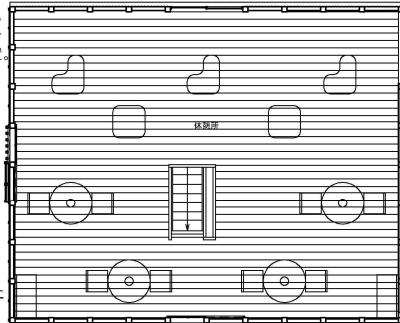


図3. 二階平面図

予備の椅子を設置し、人数に合わせて自由にとって行ってもらおう。

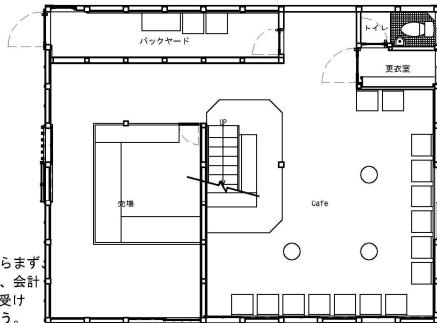


図2. 一階平面図

入ってきたらまず商品を選び、会計を行い奥で受け取ってもらおう。

商品を待っている間、椅子に座り眺めたり写真を撮ってもらい、花手水を楽しんでもらおう。

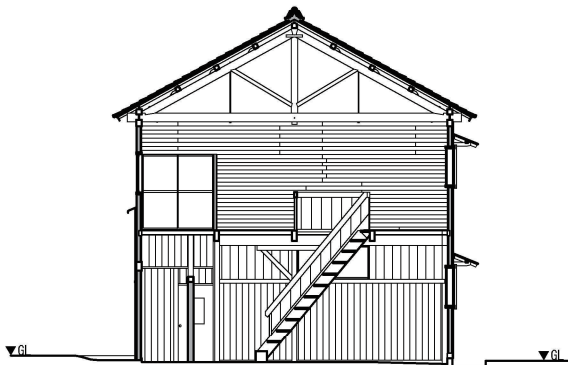


図4. 梁間断面図

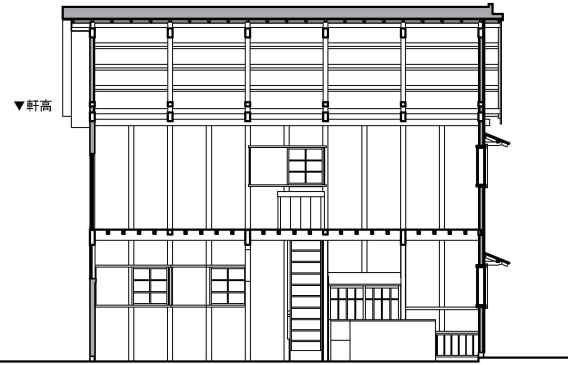


図5. 桁行断面図

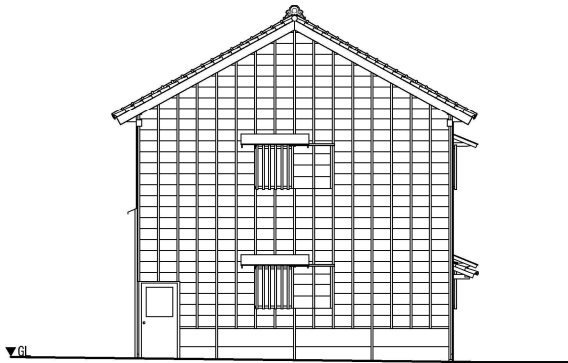


図6. 西側立面図

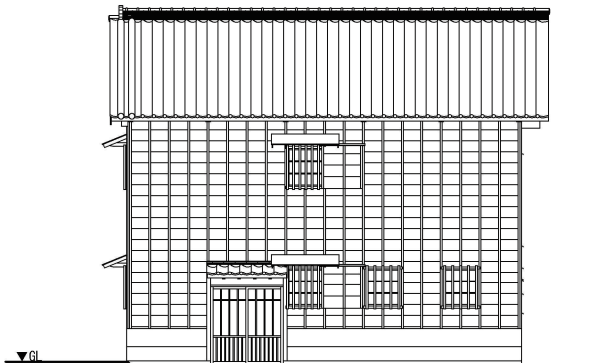


図7. 南側立面図